

平成 23 年 2 月 28 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

株式会社 QLife

---

「不定愁訴は女性に多いと思う」、それは「女性の社会的ハンデ」  
就業女性の約半数が「毎月 1-3 日程度、平均 30%程度の能率低下」に悩む  
医師への相談は 5 人に 1 人どまり

---

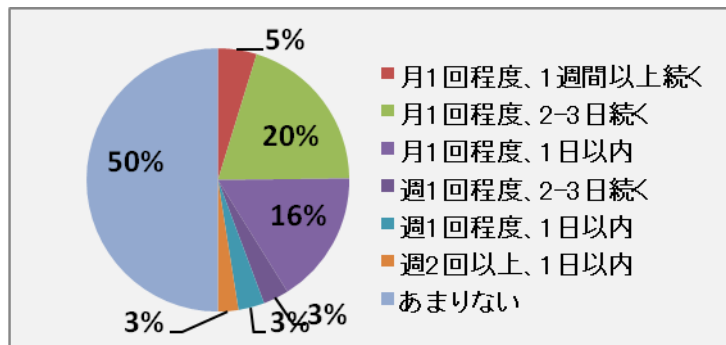
日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife(キューライフ／本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、女性のための総合ポータルサイト「ウーマンエキサイト」と共同で、『20 代・30 代女性の「不定愁訴」実態調査』を行った。6,355 人から回答を得た。

それによると、20 代・30 代女性の 2 人に 1 人が恒常的に不定愁訴に悩んでいる。頻度や期間はさまざまだが、フルタイム就業者は身体的症状が多く無職者は精神的症状が多い。就業女性の場合は「毎月 1-3 日程度、平均 30%程度の能率低下」が発生していることもあって、不定愁訴が女性に多いのは「女性の社会的ハンデ」と考える人が多かった。

この調査結果について、亀田メディカルセンター主任産婦人科部長で、(社)日本産科婦人科学会「女性の健康週間」委員会委員長でもある清水幸子氏は、次のように述べた。

“「不定愁訴に悩む女性の 5 人に 1 人」しか医師に相談したことがなく、「この程度で理由で病院に行くべきでない」と考える女性が多かったことは、大変心配です。不定愁訴の背景には、病気が隠れていることがあるからです。また、検査で異常がなかった場合でも、不定愁訴の症状改善に向けて治療する方法はあります。ぜひ、私たち産婦人科医を「生涯にわたる女性の主治医」として活用して戴きたいと思います。”

あなたには不定愁訴の不調がありますか？(深刻な病気がない 20-30 代女性、n=3,297)



### 【調査の背景】

3月1日から厚生労働省らが主唱する「女性の健康週間」が始まる。それにあわせ、女性の健康について考える取り組みの一つとして「不定愁訴」に注目した。不定愁訴は女性に多いと言われるが、本人以外に症状が判りにくく「気持ちが弱いだけ」と見なされ苦しむ人が少なくない。そこで、20代・30代女性の実態を就業状態別に把握することで、職場や家庭など周囲の理解を促進し、解決策を模索する一助とする。

### 【結論の概要】

1. 「不定愁訴(ふていしゅうそ)」という言葉の認知率は33.8%
2. 毎月PMS(月経前症候群)に悩まされる人は23.9%で、この率は20代後半と30代前半層で若干高まる。  
  
3. 50.0%の人が、PMS以外で毎月「不定愁訴」に悩まされている。ほとんどは「月1回程度x1-3日以内」の不調だが、なかには頻度=週1-2回程度だったり、長さ=1週間以上という人もいる。  
症状の内容は、「だるい・疲れがとれない」(82.8%)、「イライラする」(60.6%)、「頭痛」(56.5%)など多岐にわたるが、年代別/就業状況別で傾向が若干異なり、例えばフルタイム就業者は無職者より「身体的症状」が多く、無職者の方が「精神的症状」が多い。
4. PMS以外で「不定愁訴」ある人のうち、医師相談経験があるのは20.2%。42.6%は何もせず「我慢する」をメイン対処法としている。  
なお、不定愁訴が診療対象であると知らないために受診しない人が28.2%、相談できる医療機関を具体的に知らないために受診しない人が21.1%おり、適切な情報があれば治療を受けられる人が現在の2-3倍に増える可能性がある。
5. 「不定愁訴」が起きると、フルタイム就業者の仕事効率は普段の70%程度に低下する。すなわち、「フルタイム就業女性の約半数(47.9%)において、PMS以外でも、毎月1-3日程度にわたり、平均30%程度の経済損失が発生」している可能性がある。
6. 「不定愁訴は女性に多い」と79.0%が思っており、それは「女性の社会的ハンデ」と66.0%が考えている。これを軽減するには、男性・会社など周囲の理解促進と、「休みを取りやすく」など制度・施設面の改善が有効と考える人が多い。

★詳しい調査結果は、<http://www.qlife.jp/square/feature/woman/story18267.html>

★調査報告書ダウンロードは、[http://www.qlife.co.jp/news/110214qlife\\_research.pdf](http://www.qlife.co.jp/news/110214qlife_research.pdf)



---

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006 年 (平成 18 年) 11 月 17 日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう !

U R L : <http://www.qlife.co.jp/>

---

本件に関するお問い合わせ先 :

株式会社 QLife 広報担当

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)

---